

ボランティア通信 2018. 8 Vol. 220



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



パナソニックミュージアム・松下幸之助歴史館正面

見学コースは松下幸之助歴史館、ものづくりイズム館の2箇所をガイドさんの説明を聞きながら約2時間で廻りました。

歴史館は、松下幸之助さんが歩んでこられた94年の生涯を、道としてたどりながら、幾多の苦難を乗り越えるなかで、氏が見出した経営観や人生観にふれ、その非凡な人柄に感銘を受けました。

ものづくりイズム館では、「家事楽・思いやり・感動・自由・安心・新定番」の6つのテーマで、くらしを豊かにしてきた家電製品、約150点が展示されている。また、ヒストリーウォール（社会背景や時代のニーズに呼応したもののづくりの歩みをデザインとテクノロジーが融合した先進的な映像空間に写真下参照）や、大阪万博が開催された1970年当時の日本文化・くらし文化をはるか5千年後の人類に伝える「タイムカプセルEXPO



ヒストリーウォール

70」その収蔵品の一部が展示され、万博が描いた「当時の未来」である「いま」を体感できるなど、楽しく学ぶことができました。



歴史館内で全員がカメラに収まりました

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎ 8 9 4 - 3 7 3 7)

リーダー親睦会

パナソニックミュージアムを見学

ことしで創業100年になるパナソニックの「歴史と創業者の思いを未来に伝承したい」という願いをもって開かれた、豊かな学びの場としてのパナソニックミュージアム（松下幸之助歴史館・ものづくりイズム館）を7月24日（火）リーダー・サブリーダーを含め総勢32人が見学しました。

ボランティア インタビュー65 斉藤三千子さん（さつき）



ボランティア活動を始めたきっかけは

仕事をしているときから、仕事を辞めたらボランティアをしたいと家族にも話していただきました。仕事を辞めた後、交野市の広報に載っていた「大阪府手話通訳養成講座」に申し込んでそこで知り合った方に紹介してもらって、「天の川」と「さつき」に入りました。

ボランティア活動を始めてみて何か感じたことは

仕事だったら、みんな不平不満はあると思うけど、ボランティアの方は、活動中の不平不満は言わないし悪口も言わない優しい人が多いというのを、いとも感じます。

何かご趣味はありますか

色々なことはやりましたが、娘の出産や孫の世話・自治会の役員などで忙しくなってしまう、今続けているのはいきいきランドでのトレーニングと手話です。トレーニングスタジオに入って汗を流すと気分爽快になります。体力維持の為、長く続けたいと思っています。

手話を向上させたいという気持ちもあるのですが、手話サークル二つと講習会や講演会に参加するなど、手話に費やしている時間は多いと思います。体力が続く限り、手話を続けていきたいと思っています。

大切にしていることは

家族の健康が一番大切です。子どもや孫がいて家族が多いので、地震で学校が休校や、病気になる子どもが働いているので、孫を私が預かってお世話することにになります。家族の健康がなかったら、活動を続けていくことができません。家族の健康を一番大事にしています。

リーダー会議（7月24日）

- ☆連絡会より
- ・市民交流フェスタについて
- ・第3回実行委員会（7月25日）に開催、8月4日の開催に向けた最終的な実行委員会になるので準備と細部についての取り決めを行なう。当日は各リーダーの集合時間は正午です。それぞれ昼食を済ませてボランティアセンターに集合ください。
- ・大阪府市町村河北ブロック交流会開催にあたって
- ・二部構成で実施、一部は盲人落語家桂福点さんの講演と創作落語、二部は河北ブロックの各市町村ボランティア連絡会との交流を行なう。一部の参加申込みは8月28日のリーダー会議まで、（細部については省略）
- ・健康福祉フェスティバルについて
- ・8月21日にふれあい広場実行委員会を開催します
- ☆Vセンターから
- ・8月28日、リーダー会議終了後に消火訓練を行ないます。
- ・天候悪化時の活動について
- ・その他

編集 後記

暑中お見舞い 申し上げます

今年の夏は、太平洋高気圧の上に、チベット高気圧が重なり、ことのほか厳しい猛暑の連続で、日本各地で高温注意報が連日出るありさまです。逆走台風12号で暑さが一時収まりましたが、また暑さがぶり返ってぐつたりの日々です。

先日、知人から熱中症対策の飲料水の作り方を教えて貰い、早速作ってみました。1リットルの水に、砂糖40グラム、塩3グラムで、大変微妙な味加減ですが、熱中症の予防にと持ち歩いています。

暑さの精ばかりではないでしょうが、このところ頼まれた買い物を忘れることが度々で、娘からは「紙に書いて持って行ったら！」との苦言を、「書いた紙を忘れて行くからいっしょやねん！」と憎まれ口を返す。

暑さと物忘れの格闘が続く今日この頃、涼やかな虫の音が待ち遠しいです。（セブン）

山下 奈々子さん(ボランティアセンター・コーディネーター)が着任



長い期間、空席だったボランティアセンター・コーディネーターに7月23日から山下奈々子さんが着任されました。
コーディネーターの仕事は初めてのことと言われておられますが、以前は民間で高

齢者の方たちと接する仕事も経験されておられ、福祉にも明るく心強い山下さんです。
ボランティアのみなさん方の活動が少しでもサポートできるように努めたいとのメッセージをいただきました。

笹飾りに願いを込めて障がい者との交流「ほほえみ」



7月5日(木)「ほほえみ」の活動日にあわせて、七夕の笹飾りをつくり、短冊に各自の想いや願い事を込めました。

お譲りください！

パッチワークに使う木綿の布を提供していただけませんか。

お宅に眠っている布があればお願いいたします。

毎週火曜日ボランティアセンター1階「糸ぐるま」の

活動日にお持ちいただくボランティアセンターにお電話(894-3737)してくださいれば、ご自宅まで取りにお伺いいたします。

介護衣料手作り「糸ぐるま」

大阪 880万 訓練
Osaka 8.8million drill

9月5日水 11時 訓練実施
11時03分頃 大津波警報発表
(訓練用のメールが携帯電話等に届きます)

地震が起きたら まずは身を守る
揺れがおさまったら 津波に備えて すぐ逃げる

大阪府広報担当副知事 **もずやん**
問い合わせ 府民問合せセンター TEL 06-6910-8001
交野市危機管理室 TEL 072-892-0121

交野市市民フォーラム

「若年性認知症」と「高齢者施設の現状」の2つのテーマについての講演会です。皆さんの参加をお待ちしています。

とき 8月25日(土) 14:00~16:30 (13:30開場)

ところ ゆうゆうセンター 4階 交流ホール

定員 300名(先着順・入場無料・予約不要)

内容

講演1「若年性認知症について～当事者及び支援者それぞれの立場から」
認知症を生きる当事者 — 若年性認知症の人を中心にした生きがいとしての仕事「タック」メンバーパートナー

NPO 法人認知症の人とみんなのサポートセンター 代表 沖田裕子さん

講演2「高齢者施設ってなんぼかかるの?～これでわかる!施設選び～」

交野市地域包括支援センター センター長 村上朱里

問合せ 交野市社会福祉協議会 (☎895-1185)

天野が原町の夏祭り



7月15日(日)、天野が原町の夏祭りがあり、ミルキークウエの利用者さんと参加しました。猛暑続きで夕方になっても涼風は吹かず、気温の高い中でしたが、タコセンやポテトをほおぼる利用者さんの満足げな顔を見ると、嬉しくてひととき暑さも忘れられました。

い伸ばして、踊りの輪に加わる利用者さんの姿は頼もしく、羨ましくもありました。恥ずかしくて踊りの輪に入れなかった子どもの頃を思い出しました。(ふれんず・N)

聴覚障がい者センター建設支援

アイラブ・チャリティー 美川憲一コンサート

6月10日、泉州地域に聴覚障害センター設立(再来年)を願って、アイラブ・チャリティー美川憲一コンサートが開催され、少しでも趣旨に協力できたらと参加しました。同年代のオバサン3人懐かしいヒット曲の数々に時の経つのを忘れて大いに楽しみました。スペシャルゲスト・はるな愛のテレビでは聴いたことのない歌声、また若いハンドサインの手話を交えた歌「僕が君の耳になる」(※)もバックスクリーンでのドラマ展開を見ながらの感動作とても良かったです。

みんなのひろば

HANDSIGN (ハンドサイン)

手話を交えた独自の表現方法でメッセージを届け、音楽とパフォーマンスですべての人たちが楽しめるライブ空間を追求し続けている。平尾昌晃プロデュースの話作「僕が君の耳になる」のミュージックビデオは Youtube 100万回再生を突破した。

平尾昌晃プロデュースの実話を基にした話作との紹介がありました。ぜひYouTubeでご覧になってみてください。フィナーレは、今回の趣旨に賛同しコンサートを盛り上げてくれた全出演者に惜しみない拍手を送りました。(K記)

新しい施設を訪問

車いすダンス「ひまわり」

今春に、枚方市の施設「アシュラー」から訪問の依頼を受け、6月にお試し訪問をしました。

音楽に合わせた手遊びやステップを踏み、身体を動かすことをメインにした1時間程度のプログラムで入所者との交流をしてきました。みなさんの笑顔に接することができ、訪問の成果を感じ取れました。

次回は9月21日に訪問予定です。

(ひまわり・S記)



リサイクル本との出会い

3月中旬、孫と2人でリュックを背負って倉治図書館のリサイクル本の排出日についてきた。正直言って特に読みたい本はなかったが、これまで敬遠してきた作家(三浦朱門ほか)の本を中心に数冊を貰ってきた。隙ひまにそれらの本を読んでいっているが、敬遠していた作家の美しい文章、素晴らしい内容に触れ(期待外れもあるよ)、この年齢になっても、尚、感動する自分があることにも驚いてしまう。

みなさんも図書館のリサイクル本を貰いに行ってみてください。本を貰う人の行列の長さにもびっくりしますよ
(ライム)

